

ようじえんだより 2020年度11月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

11月主題『感じる』

主題聖句：わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書15章12節

- ☆ 0歳児：保育者の「ありがとう」という祈りに、うれしい気持ちを重ねる。様々なことに興味をもち動き出す。保育者や友だちと園の生活を楽しむ。
- ☆ 1～2歳児：神さまがくださったたくさんの恵みに感謝する。生活や遊びの中で、自分の気持ちや発見を表現する。自分でやりたい気持ちと、うまくできずにじれる気持ちを保育者に受けとめてもらう。
- ☆ 3歳児：神さまイエス様に愛され、たくさんの恵みをいただいていることを感じる。秋の自然物（木の実や落ち葉など）で遊ぶ経験をする。イメージを共有しながら遊ぶ。
- ☆ 4～5歳児：神さまに与えられている一人ひとりの賜物（ギフト）が生かされて遊び、生活する。遊びの継続が楽しくなり、期待や意欲をもって園生活を送る。自分たちの生活が様々な人に支えられていることを知り、感謝する。

魔のイヤイヤ期

2歳～3歳くらいになると「イヤ！」「やらない！」という言葉や態度が増えてきます。そういう時期であることを親はわかっているのですが、それでも子どものイヤイヤが親のイライラになることはよくあることです。子どものイヤイヤ期に対応するのに特効薬はなかなかありません。しかし気持ちの持ち様で随分と変わることも事実です。

イヤイヤと言えるのは安心しているから

個人差はありますが、子どもは意外と警戒心が強いものです。そして大人の表情を驚くほどよく見えています。児童精神科医であった佐々木正美先生(故人)は、「親を信じ、安心しているから子どもは反抗できる」とおっしゃっています。そもそも子どもは依存と反抗を繰り返しながら大人になっていきます。依存という甘えと、反抗

という自立の態度を繰り返しながら成長するということです。心しておくことは「自立しようとする態度である反抗を押さえつけていると、結果として反抗期は長引く、あるいはなかなか自立できない」(佐々木正美先生談)ということです。そう考えると、イヤイヤ期は人生最初の反抗期として歓迎すべきことです。

Noと言える(言えた)ことを喜ぶ

欧米では我が子が初めて「NO！」と言った日を記念日として覚える風習がある、と聞いたことがあります。イヤと言えることは自我が芽生えてきているということだからです。特に諸外国では自己主張は悪いことではなく、自分をしっかりともっているとして高評価になります。人の気持ちを理解することや周囲に合わせる協調性も大切ですが、自分をしっかりともつことも同じく大切なことだと思います。 園長:久保田愛策

年間主題『こころが満たされる』

主題聖句：喜びと平和とであなたがたを満たす
新約聖書 ローマの信徒への手紙15章13節